

おかやましがいこくじんしみんかいぎだい き 岡山市外国人市民会議（第5期）

にゅーすれたー ニュースレター No. 6

へんしゅう はっこう おかやまししみんきょうどうきよこくさいか ねん がつはっこう
編集・発行：岡山市市民協働局国際課 2018年12月発行

だい かい かい ぎ かい さい ～ 第7回会議を開催しました～

かいさいにちじ ねん がつ にち か ごごじ
【開催日時】 2018年11月20日（火）午後3時から

ば しょ きんろうしゃふくしせんたー かい だいかいぎしつ
【場所】 勤労者福祉センター4階 大会議室

ない よう おかやましたぶんかきょうせいしゃかいすいしんぶらん
【内容】 (1) 岡山市多文化共生社会推進プランについて
しみんきょうどうきよこくさいか おかやまし かこねんかん とりくみじょうきょう
・市民協働局国際課から岡山市の過去5年間の取組状況
かいていそあん せつめい
と改訂素案を説明
た
(2) その他

かいぎないようとう

【会議内容等】

(1) おかやましたぶんかきょうせいしゃかいすいしんぶらん 岡山市多文化共生社会推進プランについて

しみんきょうどうきよこくさいか おかやましたぶんかきょうせいしゃかいすいしんぶらん ねんど
市民協働局国際課から岡山市多文化共生社会推進プランの2014～2018年度の
とりくみじょうきょう せつめい
取組状況について説明

ねんど けいかくきかん げんざい おかやましたぶんかきょうせいしゃかいすいしんぶらん
2014～2018年度までを計画期間とする現在の岡山市多文化共生社会推進プラン
とりくみ はしら けいじょう しんき とりく けん ないよう
の取組において、5の柱ごとに計上したところ、新規に取組んだもの61件、内容
かくじゅう けん いぜん けいぞく とりく けん ごうけい けん とりくみ
を拡充したものの27件、以前から継続して取組んだもの72件、合計160件の取組が
とく ぎょうせいじょうほう たげんごかどう こみゆにけーしょん しえん ほけん ふくし いりょう
あり、特に行政情報の多言語化等のコミュニケーション支援や、保健・福祉・医療、
きょういくぶんや ちゅうしん せいかつしえん いってい せいか かんが
教育分野を中心とした生活支援において、一定の成果があったものと考えられる。

いっぽう けいかくきかんちゅう がいこくじんしみんかいぎ ていげん と あ きょじゅうしえん きょういく
一方で、計画期間中に外国人市民会議の提言で取り上げられた居住支援・教育
しえん せいかつしえん さら じゅうじつ がいこくじんじしん しえん がわ
支援といった生活支援の更なる充実、外国人自身が支援する側になれるような
しく じょう くだい へいせい ねん がつごうあき がいこくじん さいがいじょうほう
仕組みづくり等の課題や、平成30年7月豪雨で明らかになった外国人への災害情報
でんたつ かん くだい とりくみ せいか じゅうぶん い
の伝達に関する課題など、これまでの取組の成果が十分とは言えないものや、新た
み くだい のこ げんじょう
に見えてきた課題が残されている現状がある。

しみんきょうどうきよこくさいか おかやましたぶんかきょうせいしゃかいすいしんぶらん ねんど かいいていそあん
市民協働局国際課から岡山市多文化共生社会推進プランの2019年度 改訂素案

について説明

□改訂のポイント

- ① 外国人市民の増加や国の新たな政策への対応
- ② 外国人市民会議からの提言を反映
- ③ 災害対応を柱に格上げし、取組を推進

□新設した具体的な施策

- ① 関連団体とのネットワークの構築
- ② ネットワークを活用した情報収集・伝達の仕組みづくり
- ③ 地域で行うイベントへの参加促進
- ④ 外国人自身が支援する側になれるような仕組みづくり
- ⑤ 国の新たな政策に対して迅速に対応する

岡山市多文化共生社会推進プランの過去5年間の取組状況と改訂案について 委員の意見・質問

- ・ 外国人市民会議の提言を踏まえて、改訂してもらえるのは良いこと。
- ・ 日本語指導講師派遣はすばらしい制度であると思う。今後もニーズに応じて充実させてほしい。
- ・ 岡山市に転入してきた外国人市民に対する対応が大切。
- ・ 外国人市民が過去5年間で40%も増加しているというのは大きな変化だ。岡山市だけで全ての課題に対応するのは困難なので、外国人市民ボランティアを活用してはどうか。
- ・ 小学校での英語教育が変わるが、ALTの派遣についてはどうなるのか。
- ・ 岡山市が交流会・講座の企画をする際に、外国人の意見を聞いてはどうか。
- ・ 防災教育として、災害イメージーションのワークショップ「目黒巻」を活用してはどうか。
- ・ 外国人観光客が増えているので、バスや電車の利用の仕方（料金はいつ払うか等）を多言語で案内した方が良い。
- ・ 岡山県、岡山市、総社市、岡山県国際交流協会等、色々な機関が連携して取り組むことが必要。

(2) その他

7月豪雨災害について委員の意見・質問

- ・ SNS を利用して災害時に情報を拡散することについては、自分たちも協力したい。
- ・ 災害情報メール（エリアメール）を多言語化してほしい。
- ・ 長年、岡山に住んでいたり、日本語ができる外国人市民に、災害に関するトレーニング（訓練・研修）を受けてもらって組織化し、災害時に情報発信したり、避難所で「外国人デスク」を作ったりといった活動ができるようになればよい。
- ・ 7月豪雨災害で、外国人市民に対してどのような対応をされたか。また、ボランティアをどのように募集し運営するか。
- ・ 災害対応では、関連団体とのネットワークの構築が非常に重要であるが、民間団体だけではなく公的機関とも関係を構築していくことが大切。



おかやましがいこくじんしみんかいぎだい かいかいぎ ようす
【岡山市外国人市民会議第7回会議の様子】



といたわ
■ 問合せ

じむきょく おかやまししみんきょうどうきょくこくさいか
事務局：岡山市市民協働局国際課

TEL 086-803-1112 FAX 086-225-5408

E-mail kokusaika@city.okayama.lg.jp